

令和4年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会
議事要旨

1. 日 時：令和5年2月20日（月）9：30～11：30
2. 場 所：沖縄総合事務局2階災害対策室A・B・C
3. 出席者：津嘉山委員長、大城委員、神谷委員、金城（栄）委員、金城（孝）委員、古里委員
4. 議 事：「金武ダム 定期報告書（案）」
5. 主な意見
 - 利水補給
 - ・近年大雨の降り方が変わってきているため、沖縄の降雨の年間特性を踏まえた水運用を検討していく必要がある。
 - ・コロナ禍で水需要が減ると思われたがそれほど減っていない状況、水の使い方がどうなっているか水需要構造の検証していくことが重要である。
 - ・渇水時の断水がなくなったことで県民の水への関心が薄れている。ダムが大きく貢献していることを県民にPRしていくことが重要である。
 - 水質
 - ・金武ダムでは、上流からの汚濁負荷が高い中、アオコが発生せず、嫌気化も生じていない。これは気泡式循環設備の効果が発揮されているためであり、全国的に見ても非常に好事例である。
 - 生物
 - ・定期的な調査以外に普段、川を利用されているエコツーリズム関係者の方などにもヒアリングを実施することで現地の情報を得ることができる。
 - 水源地域動態
 - ・沖縄北部ダム湖サミット宣言から10年の節目であり、地域との連携協力、北部ダム全体の活性化につながるような取り組みを進めてほしい。